

I 平成26年度事業報告書

(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

1 主要な会議

(1) 理事会

区分	開催日	議案等
書面	平成26年4月1日	事務局の重要な職員の任免の件
通常	平成26年5月19日	① 平成25年度事業報告及び決算(案)の件 ② 評議員会の開催の件 〈報告事項〉 平成25年度資金運用の経過の件
臨時	平成26年5月29日	① 理事長及び常務理事の選任の件 ② 特別顧問の委嘱の件
書面	平成26年7月7日	評議員会の開催の件
通常	平成26年10月31日	〈報告事項〉 ① 平成26年度事業報告(上半期)の件 ② 平成26年度資金運用の経過の件
通常	平成27年2月2日	① 平成27年度事業計画(案)及び収支予算(案)の件 ② 平成27年度資金運用の執行方針及び計画(案)の件 ③ 財務関係規程制定の件 ④ 評議員会の開催の件
書面	平成27年3月24日	① 平成27年度評議員会の開催について ② 事務局の重要な職員の任免について

(2) 評議員会

区分	開催日	議案等
書面	平成26年4月1日	理事・評議員の選任に係る件
定時	平成26年5月29日	① 平成25年度事業報告及び決算について承認を求める件 ② 役員(理事及び監事)の選任の件 ③ 評議員の選任の件 〈報告事項〉 平成25年度資金運用の経過の件
書面	平成26年7月11日	理事・評議員の選任に係る件
定時	平成27年2月12日	① 平成27年度事業計画及び収支予算報告の件 ② 平成27年度資金運用の執行方針及び計画報告の件 ③ 財務関係規程制定の件

2 事業報告

【公益目的事業】

(1) 環境学習事業

① 自主事業

ア 自然・文化体験セミナー「屋久島感動めぐり」まるごと屋久島体験
 広く全国から参加者を募り，自然を体験したり環境文化を学ぶため，屋久島のフィールドを活用した自然観察や島内の方々との交流等を行った。

名 称	実 施 内 容	実 施 時 期	延 べ 参加者
まるごと屋久島研修講座(里)	島内一周解説 (永田集落散策, 地場産業見学)	4月20日	26人
まるごと屋久島研修講座(森)	屋久島の自然散策 (ヤクスギランド解説)	4月29日	26人
春の屋久島満喫旅	龍神杉トレッキング・地質解説・吉田集落散策	5月3日～6日	38人
水の島に触れる1日	(荒天中止)	6月29日	—
子ども屋久島大冒険!	(荒天中止)	8月8日～11日	—
屋久島でトレボラ♪	大和杉トレッキング・春牧集落散策等	9月19日～21日	45人
心に撮す秋の屋久島	写真撮影会・トレッキング・集落散策	10月31日～11月3日	48人
島の恵に触れる1日	タンカンのハンドメイド作り	2月8日	26人
焚き火でほっこりご飯の会	散策, 焚き火でパン作り	1月17日～18日	68人
オフロードポタリング	自転車による林道踏破	2月11日	8人
植物の名前を覚えよう	植物採集と標本づくり	2月28日	14人
ちょっと道草	植物観察と食べられる野草料理	3月1日	7人
春の生きもの観察会	(荒天中止)	3月15日	—
計	10回		306人

イ 里のエコツアー

広く全国から参加者を募り，自然環境に負荷を与えない屋久島の里地の暮らしや伝統文化等について体験できるエコツアーを行った。

名 称	実 施 内 容	実 施 時 期	延 べ 参加者
のんびりゆったり里のエコツアー (一湊集落)	一湊集落散策	6月8日	19人
のんびりゆったり里のエコツアー (口永良部)	(台風による被害で中止)	7月12日～13日	—
のんびりゆったり里のエコツアー (中間集落)	黒糖づくり, サトウキビ刈り	3月21日～22日	21人
計	2回		40人

<参考：屋久島里めぐり推進協議会実施分>

- 主 体：「屋久島里めぐり推進協議会」（屋久島町，財団，参加集落）
- 目 的：屋久島に山岳部へ集中する観光のあり方を見直し，屋久島の里地へ観光の幅を広げ，新たな観光と地域振興の仕組みづくりを進める。
- 参加集落：吉田集落，宮之浦集落，春牧集落，平内集落，中間集落
- 実 績：参加者数 (単位：人，()は受入回数)

	吉 田	宮之浦	春 牧	平 内	中 間	計	備 考
24年度	57 (5)	53 (4)	25 (3)	23 (2)	16 (2)	174 (16)	ホームページの開設
25年度	10 (8)	62 (12)	147 (20)	31 (5)	32 (7)	282 (52)	民泊＝平内集落で 2回 46人受入
26年度	80 (19)	166 (47)	101 (24)	36 (4)	62 (7)	445 (101)	民泊＝平内，中間集 落で1回 35人受入
計	147 (32)	281 (63)	273 (47)	90 (11)	110 (16)	901 (169)	

※ 大型客船「ぱしふいっくびーなす」の乗客に事前案内を行った。(宮之浦6回43人)

【離島地域おこし団体活動支援モデル事業の活用】 (国・県の助成事業)

里のエコツアーにおける質の向上，効果的な集客に向けての広報活動及び新たなオプションの構築等のため，本事業を活用し民間から技術の提供を受けて，より良いサービスの向上，地域の活性化へ繋がる土台作りを行った。

ウ ふるさとセミナー

島内の方々を対象に，屋久島の身近な自然を素材にしてふるさとの新たな一面を発見し，自然のすばらしさを学ぶための体験型研修を行った。

名 称	実 施 内 容	実 施 時 期	延べ参加者
研修センターオープンデー	葉緑素科学実験・キャンドル ・スライム作り	6月22日	217人
冒険しよう	竹を使ったアウトドアクッキング， facebook投稿	11月22日～23日	26人
計	2回		243人

エ 星空観察会

星座や宇宙への関心を高めるため，島内各地で季節ごとの星空観察を行った。

名 称	実 施 時 期	参加者
春の星空観察会 (栗生小学校)	4月18日	50人
秋の星空観察会 (小瀬田小学校)	9月26日	63人
冬の星空観察会 (八幡小学校)	2月20日	65人
計	3回	178人

オ 自然に親しむ集い

環境省，屋久島町と共催で，屋久島の身近な自然のすばらしさを学ぶため，島内在住者を対象に自然観察活動や自然体験活動を行った。

名 称	実 施 内 容	実 施 時 期	参加者
第1回自然に親しむ集い	海辺の草花で遊ぼう	7月21日	13人
第2回自然に親しむ集い	(荒天中止)	11月9日	—
第3回自然に親しむ集い	貝の採集	3月22日	23人
計	2回		36人

カ 世界自然遺産登録地域間交流推進事業（屋久島町からの委託事業）

屋久島の小学校6年生8名が、世界自然遺産に評価される自然の価値と、人と自然が関わってきた歴史と文化について屋久島在住の講師に学び、青森県の白神山地を訪問した。現地の子どもたちとの交流により、地域リーダーとしての知見を広げるとともに世界自然遺産登録地の価値と役割を再認識した。

【事前研修4回，研修旅行1回(12月24日～28日)，事後研修2回，成果発表会1回】

② 環境学習受入事業

財団が作成した学習プログラムを活用して宿泊研修，一日研修，短時間研修を行うグループの受入れを行った。

区 分	団 体 数	延べ参加者
宿 泊 研 修	65団体	4,089人
一 日 研 修	30団体	860人
短 時 間 研 修	10団体	441人
合 計	105団体	5,390人

③ 人材養成事業

エコツアーガイドの育成，資質向上を図るため，ガイドセミナーを行った。

区 分	実 施 時 期	延べ参加者
赤十字救急法	1月7日～9日	36名
ガイドセミナー	1月23日～25日	23名

④ 屋久島子どもエコ隊活動事業

屋久島の小学校4～6年生を対象に体験的な環境学習を通して，自然環境に対する意識の向上を図り，屋久島の未来を担う人材の育成を図った。

実 施 日	内 容	延べ参加者
5月10日～11日	7000年の森ポイントラリー，キャンプ，森のクラフト等(友達作り，旗作り)	42人
8月3日	屋久島について知ろう，遺産センター見学	18人
12月13日～14日	ヤクスギランド観察，発電所見学，浄水器づくり	24人
1月31日	タンカン収穫体験，ジャム作り	11人
計	4回	95人

⑤ 屋久島関連論文等データベース化事業

屋久島関連の研究者の資料収集やデータベース化の準備を行い、内容の充実と研究講座等への招聘に活用した。また、研究者の連携を推進するために、メーリングリストの活用を図った。（平成27年3月末現在メーリングリスト登録者数：21人）

⑥ 屋久島高校環境学習支援

自然の中で行われる学習活動(屋久島での里エコ体験，屋久島地質巡検，植物相・生態，民族文化等)を通じて，屋久島の自然環境への理解を深め，人と自然の関わりを考えることを目的に，屋久島高等学校環境コースの学生の宿泊研修に対し支援を行った。

名 称	実 施 時 期	参 加 者
夏季研修	7月15日～16日	生徒7人
秋季研修	10月22日～23日	生徒9人
計	2回	16人

⑦ 学校教育の支援

屋久島についての理解を深めてもらうため，町内の小学校の教育課程における補助教材(4年生用)として，財団が出版している「図説屋久島」を町教育委員会へ160冊寄贈し活用している。

なお，寄贈は24年度～26年度までの3年度計画で，最終的に小学校4年生から6年生の環境学習等の授業の補助教材として活用されることになっている。

⑧ 屋久島研究講座

島内の方々を対象に，屋久島についての理解を深めてもらうため，屋久島について調査研究した内容を講義形式で発表する屋久島研究講座を実施した。

回	講演日	演 題	講 師	場 所	参加者
1	5月23日	屋久島学の野外霊長類学最前線	京都大学教授 阿形清和	村センター	71人
2	5月24日	巨大津波痕跡を探る	産業技術研究所 上級主任研究員 七山 太	〃	48人
3	6月6日	「照葉樹林文化論から竹林文化論へ」 「島嶼域における自然の垂直利用」	南方民族文化研究所 主宰 川野和昭 奄美群島文化財 保護対策連絡協 議会会長 中山清美	〃	112人
4	10月25日	「屋久島世界遺産地域科学委員会研究 成果発表会」	矢野徹一 湯本貴和 柴崎茂光 加藤倫之	〃	70人
5	12月6日	「屋久島の山岳研究50年の成果」	太田五雄	〃	104人
6	1月17日	「屋久島の法華宗と一品法寿大権現」 ～宝珠と法寿の違いとは	久本寺 僧侶 渡邊智旭	〃	120人
7	1月18日	「椋鳩十と屋久島」	椋鳩十文学 研究家 梶野洋子	〃	50人
計		7回			575人

⑨ 出張屋久島研究講座

島内の団体を対象に、屋久島の自然や文化に対する認識を深めるため、講師を直接地域に派遣し、講演を行った。

実施日	内 容	対 象 者	参加者
6月24日	一日遠足（黒味岳登山）の事前指導	岳南中学校	83人
11月20日	植物の垂直分布・屋久島の将来	神山小学校	23人
計	2回		106人

(2) 環境形成事業

① 環境保全普及啓発

環境省が作成したマナービデオの中核施設内の放映や、マナーガイド、リーフレットの配布を行った。

② 山岳部利用対策

「荒川登山バス」を運行するに際し、協力・推進するとともに、縄文杉周辺等でマナー指導、パトロールを実施した。また、山岳部トイレのし尿処理問題に関し、携帯トイレの利用促進を図るとともに、山岳部保全募金への協力・広報活動を行い、山岳部の環境保全に寄与した。

③ 環境保全活動支援

ア 屋久島環境ボランティア活動支援事業

環境保全の意識向上のために啓発活動等に取り組んでいる島内の団体に対する支援を行った。

イ 屋久島生物多様性保全活動支援

環境共生事業の一環で、屋久島まるごと保全協議会、ヤクタネゴヨウ調査隊、屋久島町、当財団の四者で設立している「屋久島生物多様性保全協議会」へ負担金を拠出し、屋久島の絶滅危惧種等の貴重植物の現況分布調査や、生物多様性保全に関する普及啓発活動を支援した。

ウ 生物多様性保全研究活動奨励事業

環境保全の意識向上のための啓発活動等に取り組んでいる島内の団体に対する支援や屋久島の生物や環境保全をテーマに調査・研究する研究者に対し、新たに助成を行った。

事業区分	団 体 名	事 業 内 容
ア	何かやっている会	割り箸等のリサイクル推進
イ	屋久島生物多様性保全協議会	絶滅危惧種等の貴重植物の現況分布調査 生物多様性保全に関する普及啓発
ウ	京都大学野生動物研究センター (霊長類研究所)	生息するコウモリの生態と保全
ウ	鹿児島大学理学部	屋久島の海岸植生の動態（ダイナミクス）
ウ	屋久島まるごと保全協会	タカツルランの保全 住民と協同した照葉樹林の生態系保全活動
ウ	北海道大学北方生物圏フィールド科学センター	屋久島・口永良部島に生息するニホンジカのDNA解析（遺伝的多様性の解明）
ウ	屋久島町立八幡小学校	海岸清掃，パークレンジャー体験，EM石鹸づくり

④ 自然保護活動

ア うみがめ保護遮光林維持管理

うみがめの産卵環境を保護するため、遮光林の維持管理(施肥・除草・刈込)を行った。

実施期間	委託先	実施場所
4月25日 ～ 1月30日	NPO法人屋久島うみがめ館	永田浜(いなか浜), 一湊(一ッ浜, 二ッ浜)

イ マリンワーカー事業

屋久島におけるうみがめの繁殖環境を良好に保持するために、島内の海岸清掃を地域の方々と実施した。

実施日	実施団体	実施場所	参加者
7月30日	財団直営	田代海岸	19人

ウ 海岸清掃

「世界環境デーinいなか浜」に併せ、財団ボランティア及び職員がいなか浜の海岸清掃を実施した。

実施日	主催団体	実施場所	参加者
6月7日	NPO法人屋久島うみがめ館	いなか浜	160人

(3) 交流推進事業

① 情報の収集・提供

ア 財団会報「屋久島通信」(A4版, 12ページ)の発行(9,000部)

全国の屋久島ファンクラブ会員に対して、屋久島の情報を提供した。

号数	発行時期	内容
第57号	平成26年7月	アオクチナガヒゲボソゾウムシ ／ ユネスコエコパークの取組
第58号	平成26年11月	八幡小学校「パークボランティア」 屋久島の山域を歩きながら先人の生きた証・記憶を探る
第59号	平成27年3月	屋久島高等学校環境コース

イ 財団機関紙「まるりん通信」の発行(6,500部)

毎月1回島内の全戸に配布し、財団の活動状況を紹介するとともに、中核施設への来館、イベントへの参加を呼びかける情報発信を行った。

② 財団ホームページの運用

平成26年4月に、ホームページをリニューアルオープン、フェイスブックも新規開設し、財団からの情報発信と話題提供を行った。

③ 屋久島ファンクラブの運営・加入促進

屋久島ファンクラブの加入促進や認知度向上のために、島内の関係機関（高校、屋久島事務所）などやイオンモール鹿児島（9月6日～7日）で勧誘活動を行い、入会を図った。

11月30日には、東京で屋久島ファンクラブミーティングを開催し、財団の活動報告や今後の取り組みについて意見交換を行った。

ファンクラブ会員数	922人	(27年3月末現在)
うち会費自動振込利用者数	61人	
26年度新規加入者数	183人	

[参考：平成26年3月末会員数：918人]

④ ボランティアネットワークの構築・運用

ア 屋久島の環境保全活動等に協力していただける人々を登録する環境文化ボランティア制度の周知に努めるとともに、島内でのボランティア活動を行った。

※ ボランティア登録者数 27人(27年3月末現在)
〈活動状況〉

開催日	活動内容	参加者	主催者
6月4日 ～5日	第2回国際照葉樹林サミット	3人 (約300人)	第2回国際照葉樹林サミットin 屋久島実行委員会
6月7日	世界環境デーinいなか浜	2人 (160人)	NPO法人 屋久島うみがめ館
6月15日	26年度ボランティア総会	3人 (6人)	財団
6月22日	研修センターオープンデー	6人 (217人)	財団
7月28日	村セン祭り 自然工作・バスボム作り	9人 (約200人)	財団
8月27日	留学生ポスターセッション	10人 (21人)	鹿児島大学留学生センター
9月28日	伊藤園「おいしいお茶の入れ方セミナー」	3人 (22人)	財団, (株)伊藤園
10月24日	要注意外来生物セイタカアワダチソウ除去	4人 (11人)	財団
計	8回	40人 (937人)	

※ () は全参加者延べ人数

イ 企業ボランティアの参加

開催日	活動内容	参加者	主催者
9月27日 ～28日	・春田浜海岸清掃 ・おいしいお茶の入れ方セミナー	15人 22人	財団, (株)伊藤園, ボランティア

⑤ 環境文化芸術スポーツ活動支援

伝統文化の保存活動やスポーツ活動を行っている団体へ助成を行った。

実施主体	事業内容
屋久島選抜チーム後援会	全国離島交流中学生野球大会に出場する屋久島選抜チームを支援し、中学生の育成と技術力の向上を図る。
一湊区	集落に伝わる十五夜綱引きを保存するための映像、音声データ作成への支援。

(4) 屋久島地域づくり支援事業

① エコツーリズム支援（再掲）

- 主 体：「屋久島里めぐり推進協議会」（屋久島町，財団，参加集落）
- 目 的：屋久島に山岳部へ集中する観光のあり方を見直し、屋久島の里地へ観光の幅を広げ、新たな観光と地域振興の仕組みづくりを進める。
- 参加集落：吉田集落，宮之浦集落，春牧集落，平内集落，中間集落
- 実 績：参加者数 (単位：人，()は受入回数)

	吉 田	宮之浦	春 牧	平 内	中 間	計	備 考
24年度	57 (5)	53 (4)	25 (3)	23 (2)	16 (2)	174 (16)	ホームページの開設
25年度	10 (8)	62 (12)	147 (20)	31 (5)	32 (7)	282 (52)	民泊＝平内集落で 2回 46人受入
26年度	80 (19)	166 (47)	101 (24)	36 (4)	62 (7)	445 (101)	民泊＝平内，中間集落 で1回 35人受入
計	147 (32)	281 (63)	273 (47)	90 (11)	110 (16)	901 (169)	

② 地域づくり支援

地域づくりを支援するために、イベントや地域活動に対し、支援を行った。

実施主体	事業内容	開催日
屋久島ご神山祭り実行委員会	町内最大のご神山祭りに支援	8月30～31日
屋久島夢祭り実行委員会	屋久島夢祭りに支援	11月1日
サイクリング屋久島大会	サイクリング屋久島大会に支援	2月15日

(5) 国際交流事業

① 屋久島とニュージーランドとの交流支援（22年度～，5回目）

屋久島町が姉妹木盟約を締結しているニュージーランドのファーノース及びカイパラ地区との相互交流を図るため、島内中学・高校生が渡航する際に必要な経費の一部の支援を行った。

(平成26年度実績:26年7月25日～8月15日，中学生2名，高校生3名)

② 鹿児島大学留学生ホームステイ受入事業の実施（24年度～，3回目）

鹿児島大学に留学中の外国人(20名)が屋久島でのホームステイを通して文化や暮らしを体験しながら，島民とのふれあいを通して異文化交流を図った。

(平成26年度実績:26年8月28日～8月30日)

(6) 屋久島環境文化村中核施設管理運営等事業

屋久島環境文化村中核施設である環境文化村センター及び環境文化研修センターの管理運営業務を県から受諾し、その適切な管理を行うとともに、経費節減による効率的な運営及び施設設備の補修等の維持管理に努めた。

① 開館18周年記念事業

〈村センター〉

内 容	開 催 日	延べ参加者
島民感謝デー（無料観覧）	7月14日～31日	225人
まるりん撮影会	7月27日	200人
オリジナルうちわ作り&かんたん工作体験	7月27日	200人
映画会Ⅰ「アナと雪の女王」	7月26日	217人
映画会Ⅱ「アナと雪の女王」（2回上映）	7月27日	440人
計	5回	1,282人

〈研修センター〉（再掲）

内 容	開 催 日	延べ参加者
葉緑体科学実験，蜜蠟キャンドル，スライムづくり，アリの実験，ウオークラリー	6月22日	217人

② 交流ホール貸出展示

内 容	開 催 日
特別企画展示 財団イントラ便り	7月14日～8月31日
絵手紙展示	8月1日～8月31日
南西諸島の鳥200展	10月15日～11月3日
「レクリエーションの森」小中学生作文	11月5日～11月18日
椋鳩十生誕110周年記念特別展示	1月11日～2月14日
黒潮の貝殻展	3月20日～3月31日
みぢかな里の生き物展	3月20日～4月15日

③ 中核施設利用者の状況

ア 屋久島環境文化村センターの状況 【入館者数】（単位：人）

区 分	24年度	25年度	26年度	対前年度比
入 館 者 数	62,146	64,212	62,648	97.6%
うち有料観覧者数	24,709	24,405	25,743	105.5%

【その他施設の利用状況】

施設名	24年度	25年度	26年度
	利用回数(延べ日数)	利用回数(延べ日数)	利用回数(延べ日数)
レクチャー室	66回(78日)	53回(60日)	43回(45日)
交流ホール	11回(168日)	7回(103日)	4回(81日)
大型映像ホール	3回(3日)	3回(3日)	1回(1日)

イ 屋久島環境文化研修センターの状況

【利用者数】

(単位：人)

区分	24年度	25年度	26年度	
				対前年度比
利用者数	7,053	6,453	6,049	93.7%

【その他施設の利用状況】

施設名	24年度	25年度	26年度
	利用回数(延べ日数)	利用回数(延べ日数)	利用回数(延べ日数)
視聴覚室	1回(1日間)	0回(0日間)	2回(2日間)
レクチャー室	10回(10日間)	2回(2日間)	0回(0日間)

④ その他中核施設利用促進

ア 大型客船寄港時の対応

宮之浦火之上山埠頭に寄港する大型客船に対し、屋久島町、観光協会と連携して歓迎セレモニー等を行った。

また、里エコ協議会とも連携し、宮之浦地区への里エコの参加や併せて村センター送迎バスの運行を行い誘客に努めた。

イ 旅行エージェント訪問

文化村センター誘客のため、旅行エージェントを訪問し施設のPR活動を行った。

- ・ 関西地区(11月17日)旅行エージェント6社を訪問。
- ・ 福岡地区(3月11日～12日)旅行エージェント6社を訪問。
- ・ 関東地区(12月1日)旅行エージェント1社を訪問。

ウ 教育旅行関係者に対する説明会の開催

広島市(8月26日)

屋久島への教育旅行誘致の一環として、屋久島町と協同し、説明会を開催した。併せて、広島市内の高等学校等を訪問し、教育旅行誘致の推進を図った。

エ 村センター周辺サイン整備

インフォメーション看板(3基)とビジターセンター看板(1基)を新たに設置し、集客に努めた。

【収益事業】

物品等販売事業

財団の収益を確保し、公益目的事業を推進するため、各種屋久島環境文化財団オリジナルグッズ(カレンダー、てぬぐい、携帯ストラップ等)や屋久島関連書籍等の販売を行った。

【法人会計事業】

財団管理運営事業

① 環境文化村構想の普及啓発

環境文化村構想を普及するため、「財団パンフレット」や「文化村センターリーフレット」を配布した。

また、各出郷者会総会(4月20日:中部地区,11月16日:近畿地区,11月30日:関東地区)において、環境文化村構想の普及啓発、財団の活動報告を行った。

② 効率的な管理運営の推進

効率的な施設の管理運営や環境保全募金活動の展開や賛助企業の拡大に向けた業務推進に努めた。

③ 理事会・評議員会の開催

財団の理事会(4回)、評議員会(2回)を開催した。

また、公益財団法人として、自立的運営能力向上を図るため、引き続き基本財産の適正運用による収入増に努めた。